うえきのうきょう

第50回通常総会資料

令和３年度事業報告書

令和４年度事業計画書

東京都植木農業協同組合

JA東京植木

東京都小金井市貫井南町１丁目５番20号
電話 042-384-0255　FAX 042-384-0281
e-mail mail@jatokyo-ueki.or.jp　URL https://jatokyo-ueki.or.jp

目　　次

第50回通常総会　次第 …… 1

第50回通常総会　会議の目的事項 …… 2

令和３年度事業報告 …… 3

貸借対照表 ……15

損益計算書 ……16

注記表 ……17

附属明細書 ……19

剰余金処分案 ……22

監査報告書 ……23

令和４年度事業計画 ……24

役員の補欠選任について ……29

第５０回通常総会次第

日時：令和４年１０月２５日（火）
午後３時００分
場所：ホテルエミシア東京立川

１　開会のことば

２　組合長挨拶

３　議長選出

４　書記指名

５　議案の審議
　　監査報告

６　閉会のことば

第５０回通常総会 会議の目的事項

第１号議案　令和３年度事業報告及び第５０期剰余金処分案の承認について

（提案理由）

令和３年度事業報告及び剰余金を確定させるためご承認をお願いするものです。

（原案別項）

第２号議案　令和４年度事業計画設定について

（提案理由）

令和４年度事業計画のご承認をお願いするものです。

（原案別項）

（附帯決議案）

年度途中において事業計画の一部変更（重大な変更を除く）を要する時は、理事会の決議により、これをなすことができる。

第３号議案　令和４年度借入金の最高限度額決定について

（提案理由）

令和４年度借入金の最高限度額を確定するため提案いたします。

（原案）最高限度額１億円とする。

第４号議案　令和４年度理事及び監事の報酬等の額と決定方法について

（提案理由）

令和４年度理事及び監事の報酬等の総額を確定するため提案いたします。

（原案）（１）令和４年度理事報酬額は、総額1,４００万円とし各理事の報酬額については、その範囲内において理事会に一任する。

（２）令和４年度監事報酬額は、総額１２万円とし、各監事の報酬額については、その範囲内において監事会の協議に一任する。

第５号議案　役員の補欠選任について

（提案別項）

令和３年度事業報告書

（令和３年８月１日～令和４年７月３１日）

１　組合の事業活動の概況に関する事項

本年度のＪＡ東京植木を取り巻く状況は、長期化するコロナ禍に加え、今年２月に突如として隣国ウクライナに攻め込んだロシアによる領土侵略戦争によって、輸出入を含む世界市場の枠組みが崩壊し、世界的な原材料不足が進行中です。

また、地球温暖化の影響で、日本の気候も次第に亜熱帯型へと変化しており、今夏、線状降水帯による降雨が東北地方を中心に全国各地で広がり、床上浸水や、地滑りによる家屋崩壊など、激甚な被害が頻繁に引き起こされました。

この気候変動による農作物への被害も甚大で、収穫期を迎えた水稲や大豆、リンゴなど約５００ｈａの田畑が水に浸かるなど、一部地域では壊滅的な被害となっています。

一方で経済に目を移すと、今年８月１５日に発表された２０２２年４～６月期の実質GDP成長率が、前期比＋0.5%（年率換算＋2.2%）となり、３四半期連続でのプラス成長となりました。本年４月にオミクロン株の感染拡大が一旦収束し、行動制限のない大型連休を迎えたことで、飲食業や旅客業などの対面型サービスを中心に個人消費が増加し、経済活動を押し上げました。しかしその「成長」を真に実感することは無く、前述したように世界的な原材料不足による商品の相次ぐ値上げによって、私たち消費者の生活は、絶えず圧迫され続けています。

そして行動制限なき経済活動は、ついにコロナ感染７回目の感染爆発を引き起こしました。私たちは経済活動とコロナ感染予防という不均衡な綱の上にあります。この構造からの脱却が、今何より求められています。

植木の業界においては、コロナショック前からの流通低迷が却って幸いだったのか、あまり大きな混乱は見られませんでした。

緑化に携わるＪＡ東京植木としては、地元開催であったオリパラの恩恵を受けられずここまで来ましたが、東京オリンピックのレガシーとして、有明の競技場跡地への植木供給が本年秋に本格稼働するなど、徐々に明るい兆しが見えてきました。また資材値上げ前特別セールを実施し、電動工具の展示会を開催するなど、組合員目線で諸事業を推進した結果、経常利益で1,３７０万円を計上することができました。

２　主要事業活動の内容と成果

① 総務部門は、広報誌やホームページなど対外広報を充実させ、適期に職員会議を行う中で職務意識の向上に努めました。

② 指導事業は、三年ぶりに開催された東京都農業祭５１（植木部門）の運営を担い、委託苗木事業の推進に努め、取扱高が一昨年・昨年に比して増加しています。

③ 購買事業は、電動工具を中心に展示会や特売セールを実施し、前年売上比１０４．９％を実現しました。

④ 販売事業は、指導事業と協力しつつ売上向上に努めた結果、前年売上比１４０％の売上を実現しました。

⑤ 市場部門は、コロナの影響で休市があり、前年売上比９２．８％に留まりました。

３．部門別事業報告

総　務　部　門

（１）組合員の要望に即応した情報の提供

広報誌を５回発行し、各種行事・研修会の案内・結果、購買品のＰＲ、苗木の斡旋等を行いました。

第７１号（１０月）第49回通常総会開催・植木市場開催・秋の大市開催
第７２号（１２月）第49回通常総会結果・新年懇親会開催（中止）・苗木の取り纏め
第７３号（　１月）資材即売・初市開催・購買品特売（機械類・除草剤・殺虫剤）
第７４号（　３月）東京都農業祭開催・購買品ＰＲ（マキタ・タカショー）
第７５号（　５月）東京都農業祭結果・サービス月間

（２）経済競争に勝ち残れる体制強化

今年度職員１名（清水康信）パート職員１名（堤絵美子）を採用しました。新しい職員・中堅・若手職員が共に、職員会議・研修会を行い、職員の商品知識の向上、職場内の活性化を図りつつ、利用者のニーズに即応した体制作りに努めてまいりました。

（３）植木の普及

各市で開催される農業祭への審査員派遣要請ですが、本年もコロナ禍で中止が多く、要請された２市（町田市、青梅市）へ４名を派遣しました。

東京樹木医会の協力を得て、毎週月曜日に相談日を設け、造園業者の方や、一般市民の園芸相談に対応していただきました。

指　導　部　門

（１）東京都農業祭５１の開催

都内における植木の生産地維持および技術向上のため、また都民に対しての都内での植木生産状況の理解・啓発のために実施しました。

期間：令和４年４月16日（土）～17日（日）
会場：調布市　神代植物公園臨時駐車場
出品点数：５７２点
期間売上：１,３１３,４００円
特別賞受賞者：農林水産大臣賞　イロハモミジ株立　堺幸光氏（立川市）
東京都知事賞　　ソヨゴ　新倉健治氏（西東京市）
他16点

（会場風景）

（農林水産大臣賞のイロハモミジ）

（２） 研修会の実施見送り

例年実施していた視察研修については、新型コロナウィルス感染防止の観点から実施を見送りました。

(3) 緑化用苗木の栽培管理委託（令和３年４月～令和４年３月）

東京都農林水産振興財団より受託し、受託圃場主とも連携を図りながら優良苗木の生産･供給に努めました。

栽培管理委託エリア（１２市）

あきる野市・青梅市・清瀬市・国分寺市・立川市・西東京市・八王子市・東久留米市・日野市・町田市・三鷹市・武蔵村山市

直近３ヶ年の実績

	平成31年度	令和２年度	令和３年度
本　数（年度初め）	139,136 本	157,709 本	164,594 本
受　託　者　数	38 名	36 名	30 名
新 規 受 託 本 数	68,595 本	44,529 本	33,159 本
出　荷　本　数	46,766 本	34,419 本	49,761 本

購　買　部　門

（１）品揃えの充実

品質の良い商品の陳列と品揃えに努めました。また、今まで在庫にしていない商品でも注文の多くなった商品については在庫にして、組合員のニーズに答えるようにしました。

（２）需要期における特売の実施

本年２月に農薬、ブロワ、チェンソーの販売をしました。

（ラウンドアップ４０本、ザクサ９本、プリグロックス２８本、ダイリーグ４３袋、フォース粒剤１８袋、スミチオン乳剤６本、ロックオン乳剤１本、ブロワ３台、チェンソー５台）

（３）組合員サービス月間の実施

例年どおり６月１日から６月３０日まで、全組合員を対象にした購買品１０％引きの販売セールを実施いたしました。また、特別価格商品を数品目販売しました。

１割引対象売上金額１４，８８３，５６９円

（昨年実績１７，７９４，０９９円）

特別価格商品　ミツル製　松葉型脚立　計８台　売上金額２６６，８６０円

（4）各団体の共同購入への協力

共同購入が実施されている各団体に協力し、良品を安価に提供しました。

府中市植木花卉生産組合、立川市農研会　東京都山林種苗緑化樹生産組合　植木農協町田支部　三多摩造園町田支部

（5）売上目標金額

１億６千５百万円という目標に対して、上回る事ができました。

実績については前年より約５％増となりました。

① 年間売上金額

１７１，７９９，０１７円（前年度比１０４．９％）

② 最近3ヶ年の総売上実績

令和　１年度　１４７，３５４，９６０円
令和　２年度　１６３，７５８，６４７円
令和　３年度　１７１，７９９，０１７円

③ 年間品目別売上

第一位　ちから１号
３，９５７，９２０円（１，５９１袋）
第二位　ラウンドアップマックスロード　5.5L
２，６９０，０００円（２５０本）
第三位　モアグリーン（バーク堆肥）
１，３３０，６５０円（２，２０７袋）

カシノナガキクイムシ商材（ウッドキングDASH、カシナガブロック、かしながホイホイ、メイカコートBG）　５，５９０，２００円

マキタ機械類（展示会売上２回分、修理含む）　１５，４１０，８８３円

販　売　部　門

（1）緑化植物供給可能量調査を活用した地産地消の推進

管内の植木生産圃場を材検等で巡回しながら、組合員の植木在庫の把握に努め、販売部門の売り上げ向上に尽力しました。

（2） 苗木の売り払い

広報誌やホームページで、生産者に苗木の売り払いの希望を募り、組合員に良質の苗木を斡旋・販売しました。

売上実績

令和　１年度　８１４，４００円
令和　２年度　１，７６１，１０５円
令和　３年度　９００，２５０円

（3）東京都の栽培管理委託事業の一次苗木斡旋

今年度も指導部と連携を取りながら、東京産苗木の生産状況を把握し、委託栽培事業に導入してもらうべく売り込みを行いました。

最近３カ年の一次委託苗木販売実績

令和　１年度　　８，９２８，８５６円
令和　２年度　　８，９９９，３５７円
令和　３年度　　６，０６６，７７０円

（4）売上金額

①　年間総売上金額

１５０，９６３，０３９円（前年比１４０％）

②　最近３カ年の年間売上実績

令和　１年度　　１０２，２４７，５５２円
令和　２年度　　１０７，８０５，５５７円
令和　３年度　　１５０，９６３，０３９円

（5）年間品目別売上

第一位　　芝生

①　売上金額

３８，０４７，１０５円（前年比１１８．５％、総売上金額の２５．２％）

②　内訳

高麗芝	４４，４５７束	２２，６６８，３１５円
高麗芝ロール	７，９５５束	４，３３０，８９０円
姫高麗芝	１，６９５束	９３３，０７０円
姫高麗芝ロール	２９８束	１９７，０２０円
野芝	２，８４５束	２，３２９，４６０円
野芝ロール	１３，８４２束	８，４９９，４７０円
ＴＭ－９	６６６束	１，５８４，０００円

第二位　　カイズカイブキ

３，３７５，０００円（総売上金額の２．２％）

第三位　　ソヨゴ

２，０８７，９００円（総売上金額の１．４％）

市　場　部　門

（１）市場参加の勧誘と宣伝

広報誌やホームページを利用して市場の情報を提供しました。

広報誌　　開催情報掲載

ホームページ　　毎回市況及び出荷状況の写真掲載

（２）市場運営の活性化について

大市開催時（２回）に、組合で販売している商品を粗品として参加者に配布、また売上上位者には順位に応じて商品を進呈し、市場活性化に努めました。

（３）相対取引

以前より一部の買参人から、欲しいものを見つけてもセリ前に相対取引されているとの不満の声がありました。

そこで

・市場当日の相対取引は、市場開始２時間前までとする。

・相対取引にて購入した荷は、市場開始２時間前までに積込を終える。

というルールを設けて対応いたしました。

（４）売上実績

２０，２５４，９６３円　　前年実績　２１，８０５，５４５円

開催回数１５回　　開催回数１７回

令和４年 植木市場開催

2022

・開催時間　　午後１時～
・春の大市　　４月５日
・秋の大市　　10月18日

	１月	２月	３月	4月	5月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
第１火曜日	休	休	休	5 大市	休	7	休	休	6	4	1	6
第２火曜日	休	8	8	12	10	休	休	休	休	休	休	休
第３火曜日	休	休	休	休	17	21	休	休	20 火曜のみ	18 大市	15	休
第４火曜日	休	22	22 火曜のみ	休	休	休	休	休	休	休	休	休
第５火曜日			休		休			休			休	

４．事業の経過報告

年　月　日	名　称	処　理　事　項
令和３年８月26日	総務委員会	事業報告書及び事業計画書について他
８月26日	経済委員会	事業報告書及び事業計画書について他
８月30日	監事会	棚卸監査及び事業報告、決算監査
９月３日	第１回支部長会	役員推薦委員会
９月９日	第１回理事会	令和4年市場開催日について他
10月26日	第４９回通常総会	於:ホテルエミシア東京立川（書面議決）
10月26日	第２回理事会	三役等の決定について
11月18日	第３回理事会	新年懇親会開催について他
11月26日	第２回支部長会	カレンダーの配布について他
令和４年１月16日	新年懇親会	コロナウィルス感染拡大に伴い中止
１月27日	第４回理事会	青年部助成金申請について他
３月10日	第５回理事会	東京都農業祭５１開催について他
３月17日	第３回支部長会	東京都農業祭５１開催について他
４月16日～17日	東京都農業祭５１	於：調布市神代植物公園臨時駐車場
５月12日	第６回理事会	組合員サービス月間実施について他
５月19日	第４回支部長会	新規職員の採用について他
７月７日	第７回理事会	組合員サービス月間実施結果報告について他
７月14日	第５回支部長会	緑化植物供給可能量調査について他

５．財務・事業成績の推移

（単位：円）

区　分	項　目	平成３０年度	令和１年度	令和２年度	令和３年度
財　務	事業総利益	82,347,200	79,073,960	78,062,689	95,016,708
	経常利益	8,712,994	4,828,365	3,499,151	13,702,679
	当期剰余金	8,532,994	4,555,165	2,048,251	11,875,779
	総資産	171,591,037	179,492,497	182,112,325	229,963,700
	純資産	127,892,820	132,067,985	133,456,236	144,882,015
購買事業	購買品供給高	158,578,437	147,354,960	163,758,647	171,799,017
販売事業	販売品販売高	94,742,378	102,247,552	107,805,557	150,963,039

６．組合の運営組織の状況に関する事項

（１）総会の開催状況

①通常総会

令和３年１０月２６日 開催

総会日現在正組合員数		４９４名
出席正組合員数	本人	４２名
	代理人	０名
	書面	２７６名
	計	３１８名

重要な議事及び議決事項

第１号議案　令和２年度事業報告及び第４９期剰余金処分案の承認について
令和２年度事業報告及び剰余金を確定させるためご承認をお願いするものです。

第２号議案　令和３年度事業計画設定について
令和３年度事業計画のご承認をお願いするものです。
附帯決議案　年度途中において事業計画の一部変更（重大な変更を除く）を要する時は、理事会の決議により、これをなすことができる。

第３号議案　令和３年度借入金の最高限度額決定について
令和３年度借入金の最高限度額を確定するため提案いたします。

第４号議案　令和３年度理事及び監事の報酬等の額と決定方法について
令和３年度理事及び監事の報酬等の総額を確定するため提案いたします。

第５号議案　役員退職慰労金の支給について
役員退任慰労金規程により、退職役員に対する慰労金を支給するため提案致します。

第６号議案　役員選任について
役員の任期満了に伴い、定款第２９条及び定款附属書役員選任規程第１条の規定により役員の選任を行います。

（2）組合員の状況

①組合員数

（単位：人）

資格区分		前期末	当期加入	当期脱退					当期末	増減
				持分全部の譲渡	資格喪失	死亡又は解散	除名	合計		
正組合員	個人	491	1	1	2	7		10	482	△ 9
正組合員	法人 農事組合法人									0
正組合員	法人 その他の法人	3							3	0
正組合員	合計	494	1	1	2	7	0	10	485	△ 9
備考	当期末正組合員戸数 485戸 当期末女性正組合員数 8人									

② 出資口数

（単位：口）

資格区分	前期末現在	当期増加	当期減少	当期末現在
正（准）組合員	4,827	15	60	4,782
摘要：	（1）出資一口金額 10,000円 （2）当期末払込済出資総額 47,820,000円 （3）１正組合員当たり出資金額 89,415円 （4）１組合員の持口最高限度 99口			

（3） 役員の氏名及び役職

①役員の数

（単位：人）

区分	前期末	当期就任	当期退任	当期末	定款に定める役員の定数
理事	24	16	16	24	24
（うち常勤）	（2）	（0）	（0）	（2）	
監事	3	1	1	3	3
（うち常勤）	（0）	（0）	（0）	（0）	
合計	27	17	17	27	27

②当期末現在の役員

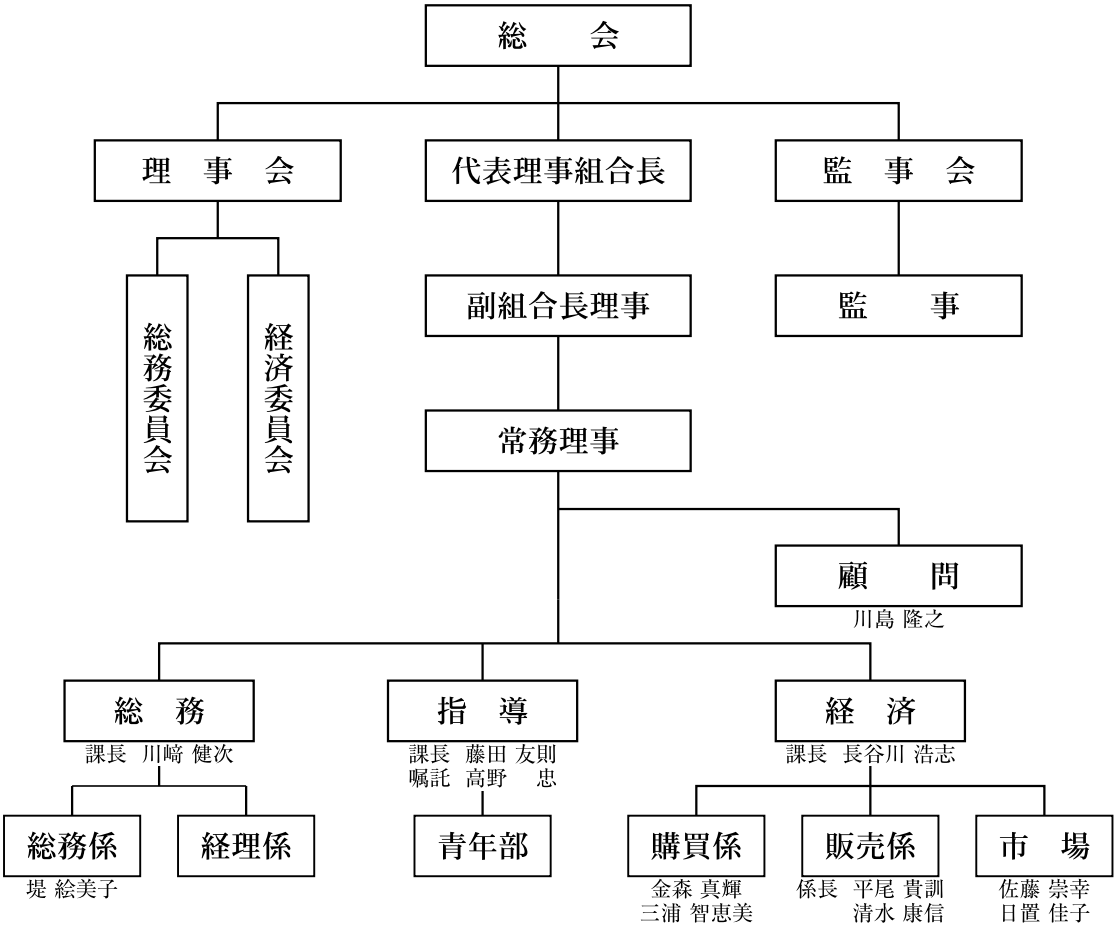
区分			氏名	就任年月日	任期満了年月	摘要
役職名	常勤・非常勤の別	代表権の有無				
代表理事組合長	常勤	有	瀧柳嘉市	平成６年９月26日	令和６年10月	調布
副組合長理事	非常勤	無	鈴木敏幸	平成18年10月20日	令和６年10月	町田
副組合長理事	非常勤	無	大野富久	平成30年10月25日	令和６年10月	青梅
副組合長理事	非常勤	無	宮﨑栄喜	令和３年10月26日	令和６年10月	立川
常務理事	常勤	無	野口健一	平成30年10月25日	令和６年10月	学識
理事	非常勤	無	薬袋徳行	令和３年10月26日	令和６年10月	昭島
理事	非常勤	無	石川剛	令和３年10月26日	令和６年10月	あきる野
理事	非常勤	無	小俣靖史	令和３年10月26日	令和６年10月	清瀬
理事	非常勤	無	村越昭彦	令和３年10月26日	令和６年10月	小金井
理事	非常勤	無	高木裕之	令和３年10月26日	令和６年10月	小平
理事	非常勤	無	細野雅人	令和３年10月26日	令和６年10月	国分寺
理事	非常勤	無	尾林正義	平成30年10月25日	令和６年10月	田無
理事	非常勤	無	土方貞文	令和３年10月26日	令和６年10月	田無
理事	非常勤	無	原島春男	令和３年10月26日	令和６年10月	立川
理事	非常勤	無	白井恭男	令和３年10月26日	令和６年10月	狛江
理事	非常勤	無	内田進	平成30年10月25日	令和６年10月	八王子由木
理事	非常勤	無	吉野静男	平成27年10月21日	令和６年10月	八王子犬目
理事	非常勤	無	根本喜好	令和３年10月26日	令和６年10月	東久留米
理事	非常勤	無	丸山宙	令和３年10月26日	令和６年10月	東村山
理事	非常勤	無	内堀清一	令和３年10月26日	令和６年10月	東大和
理事	非常勤	無	渡邉眞孝	平成27年10月21日	令和６年10月	府中
理事	非常勤	無	宮本良太郎	令和３年10月26日	令和６年10月	町田
理事	非常勤	無	宍戸啓次	令和３年10月26日	令和６年10月	三鷹
理事	非常勤	無	角田憲一	令和３年10月26日	令和６年10月	青年部
監事	非常勤	無	田中誠一	平成21年10月22日	令和６年10月	府中
監事	非常勤	無	鈴木光二	平成27年10月21日	令和６年10月	小金井
監事	非常勤	無	竹内政行	令和３年10月26日	令和６年10月	三鷹

（4） 職員数の増減

（単位：人）

区　　分	前　期　末			当期増加			当期減少			当　期　末		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一　般　職　員	7	0	7	1	0	1	0	0	0	8	0	8
計	7	0	7	1	0	1	0	0	0	8	0	8
うち常勤嘱託	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
非　常　勤　嘱　託	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
パートタイマー	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	3	3
契　約　職　員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	8	2	10	1	1	2	0	0	0	9	3	12

（5）組合の機構



（6）施設の設置状況

種　　別	名　　称	構造及び面積等	所　　在　　地	摘要
事務所・倉庫	本　　店	プレハブ造ストレート葺79.33㎡	東京都小金井市貫井南町1丁目5番20号	
合　　計			1箇所	

貸　借　対　照　表

令和４年７月３１日

（単位：円）

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	金額			科目	金額		
１流動資産			**218,254,255**	**１負債**			**85,081,785**
(1)現金		582,533		(1)経済未払金		22,232,152	
(2)預金		111,843,368		(2)雑負債		47,800,260	
(3)経済未収金		24,237,060		未払法人税等	1,827,000		
(4)貸倒引当金		△ 201,652		その他の雑負債	45,973,260		
(5)棚卸資産		27,280,030		(3)諸引当金		15,049,373	
(6)雑資産		54,512,916		退職給付引当金	10,876,048		
				役員退職慰労引当金	4,173,325		
２固定資産			**11,419,445**				
(1)有形固定資産		61,206,056		**２組合員資本**			**144,881,915**
建物	34,364,508			(1)出資金		47,820,000	
その他の有形固定資産	25,635,548			(2)利益剰余金		97,061,915	
無形固定資産	1,206,000			利益準備金	30,950,000		
(2)減価償却累計額		△ 49,786,611		その他の利益剰余金	66,112,015		
３外部出資			**290,000**	農林年金対策積立金	8,300,000		
系統出資		270,000		特別積立金	45,700,000		
系統外出資		20,000		当期未処分剰余金	12,111,915		
資産の部合計			**229,963,700**	**負債及び純資産の部合計**			**229,963,700**

損　益　計　算　書

令和３年８月１日～令和４年７月３１日

（単位：円）

科　　目	金　　額	
１　事　業　総　利　益		**95,016,708**
(1)　事　業　収　益	**367,092,620**	
指　　導	41,730,096	
購　　買	171,799,017	
販　　売	150,963,039	
市　　場	2,600,468	
(2)　事　業　費　用	**272,075,912**	
指　　導	37,965,789	
購　　買	128,596,758	
販　　売	103,497,022	
市　　場	2,016,343	
２　事　業　管　理　費		**83,223,978**
(1)　人　　件　　費	61,906,338	
(2)　業　　務　　費	11,507,032	
(3)　諸 税 負 担 金	770,970	
(4)　施　　設　　費	8,824,655	
(5)　雑　　費	214,983	
事　業　利　益		**11,792,730**
３　事　業　外　収　益		2,131,032
４　事　業　外　費　用		221,083
経　常　利　益		**13,702,679**
税引前当期利益		**13,702,679**
法人税・住民税及び事業税		1,827,000
当期剰余金		**11,875,679**
繰越剰余金		236,236
当期未処分剰余金		**12,111,915**

第５０期　注　記　表

（令和３年８月1日～令和４年７月31日）

Ⅰ．重要な会計方針に係る事項に関する注記

１．棚卸資産の評価基準及び評価方法

購買品・販売品：最終仕入原価法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）を採用しています。

２．固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産

定率法を採用しています。ただし、平成１０年４月１日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）は定額法。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっています。

⑵　無形固定資産

定額法を採用しています。

３．引当金の計上基準

⑴　貸倒引当金

貸倒引当金は、税法繰入限度額に基づき、当期は租税特別措置法第57条の９により算定した金額を計上しています。

⑵　退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しています。なお、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

⑶　役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えて、役員退任慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しています。

４．消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

Ⅱ．貸借対照表に関する注記

１．役員に対する金銭債権・債務

理事及び監事に対する金銭債権の総額

売掛金　　１０，５３０，３９３円

理事及び監事に対する金銭債務の総額

買掛金　　３，９７３，５４１円

Ⅲ．退職給付に関する注記

１．退職給付に係る注記

⑴　採用している退職給付制度の概要

職員の退職給付にあてるため、退職給与規程に基づき、退職一時金制度を採用しています。また、この制度に加え、同規程に基づき退職給付の一部にあてるため一般財団法人全国農林漁業団体共済会による退職金共済制度に加入しており、退職金共済制度における当JAの給付額８，２５７千円を控除したものを退職給付債務としています。なお、退職給付債務・退職給付費用の計算には、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

２．特例業務負担金の将来見込額

人件費（うち法定福利費）には、厚生年金保険制度及び農林漁業団体職員共済組合制度の統合を図るための農林漁業団体職員共済組合法等を廃止する等の法律附則第５７条に基づき、旧農林共済組合（存続組合）がおこなう特例年金等の業務に要する費用に充てるため拠出した特例業務負担金５７０千円を含めて計上しています。

なお、同組合より示された令和４年４月６日現在における、令和１４年３月までの特例業務負担金の将来見込額は、６，０４９千円となっています。

第５０期　附属明細書

令和３年８月１日～令和４年７月３１日

1. 貸借対照表等の附属明細書

（１）組合員資本の明細

（単位：円）

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
出資金	48,270,000	150,000	600,000	47,820,000
利益剰余金	85,186,236	14,375,679	2,500,000	97,061,915
利益準備金	29,950,000	1,000,000	0	30,950,000
その他利益剰余金	55,236,236	13,375,679	2,500,000	66,111,915
農林年金対策積立金	8,300,000	0	0	8,300,000
特別積立金	44,200,000	1,500,000	0	45,700,000
当期未処分剰余金	2,736,236	11,875,679	2,500,000	12,111,915
合計	133,456,236	14,525,679	3,100,000	144,881,915

（２）有形固定資産の明細

（単位：円、％）

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	当期償却額	減価償却累計額	償却累計率
建物	34,364,508	0	0	34,364,508	410,908	27,080,148	78.80%
(うち建物付属設備)	1,901,648	0	0	1,901,648	14,725	1,839,674	96.74%
構築物	4,116,550	0	0	4,116,550	41,072	3,755,298	91.22%
車両運搬具	15,777,714	1,200,000	0	16,977,714	1,042,542	15,741,963	92.72%
器具備品	4,541,284	0	0	4,541,284	619,580	2,482,386	54.66%
合計	58,800,056	1,200,000	0	60,000,056	2,114,102	49,059,795	

（３）無形固定資産の明細

（単位：円）

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	当期償却額	減価償却累計額	償却累計率
POSレジ用ソフト	1,206,000	0	0	1,206,000	241,200	726,816	60.27%

（４）外部出資の明細

（単位：円）

出資先		当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
系統出資	東京都信用農業協同組合連合会	70,000	0	0	70,000
	全国農業協同組合連合会	200,000	0	0	200,000
	計	270,000	0	0	270,000
系統外出資	東京都農業信用基金協会	20,000	0	0	20,000
	計	20,000	0	0	20,000
合計		290,000	0	0	290,000

（５）引当金等の明細

（単位：円）

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	204,189	201,652	0	204,189	201,652
退職給付引当金	18,074,970	826,247	8,025,169	0	10,876,048
役員退職慰労引当金	3,343,324	934,443	104,442	0	4,173,325
計	21,622,483	1,962,342	8,129,611	204,189	15,251,025

備　考

（注１）計上の理由及び額の算定方法については注記表の引当金の計上基準を参照して下さい。

（注２）貸倒引当金の当期減少額のうち、その他は、洗替による戻入れ額によるものです。

（6）役員との間の取引の明細

（単位：円）

役職等	取引内容及び金額			摘要
	取引の種類	取引	金額	
理事24名 ・ 監事３名	売掛金	当期取引額	10,530,393	
		当期首残高	1,852,379	
		当期末残高	1,297,679	
		当期増減（△）額	△ 554,700	
	買掛金	当期取引額	3,973,541	
		当期首残高	772,086	
		当期末残高	203,434	
		当期増減（△）額	△ 568,652	

（7）事業管理費の明細

（単位：円）

損益計算書科目	内訳科目	金額
人件費	役員報酬	13,855,520
	給料手当	38,209,521
	法定福利費	6,227,106
	厚生費	1,853,501
	退職給付費用	826,247
	役員退職慰労引当金繰入	934,443
	役員退職慰労金	0
	小計	**61,906,338**
業務費	会議費	225,830
	接待交際費	374,066
	通信運搬費	1,562,957
	車輌維持費	1,830,888
	消耗品費	369,568
	印刷費	1,516,209
	図書費	28,620
	研修費	60,000
	宣伝広告費	485,014
	リース料	3,859,336
	旅費	1,194,544
	小計	**11,507,032**
諸税負担金	租税公課	412,600
	支払賦課金	0
	分担金	358,370
	小計	**770,970**
施設費	減価償却費	2,355,302
	修繕費	0
	保険料	501,800
	水道光熱費	718,073
	賃借料	4,980,000
	消耗備品費	269,480
	小計	**8,824,655**
その他の管理費用	雑費	214,983
合計		**83,223,978**

（８）事業別の明細

①購買事業　（単位：千円）

種　　類	平成３０年度	令和１年度	令和２年度	令和３年度
収　　益（Ａ）	158,578	147,354	163,758	171,799
費　　用（Ｂ）	114,618	106,959	122,259	128,596
事業利益(Ａ−Ｂ)	43,960	40,395	41,499	43,203

②販売事業　（単位：千円）

種　　類	平成３０年度	令和１年度	令和２年度	令和３年度
収　　益（Ａ）	94,742	102,247	107,805	150,963
費　　用（Ｂ）	70,165	74,682	78,115	103,497
事業利益(Ａ−Ｂ)	24,577	27,565	29,690	47,466

③植木市場　（単位：千円）

種　　類	平成３０年度	令和１年度	令和２年度	令和３年度
収　　益（Ａ）	3,028	2,501	2,849	2,600
費　　用（Ｂ）	1,800	1,823	1,676	2,016
事業利益(Ａ)－(Ｂ)	1,228	678	1,173	584

市場関係収支明細　（単位：円）

	収　入	支　出	備　考
取扱手数料	2,273,228		
会場利用料			
登録料	327,240		72名×4,545円
開設費用		237,467	参加者景品代他
賃借料		1,778,876	施設使用料
会場管理料			
計	2,600,468	2,016,343	
差引純利益	584,125		

④グリーン共済（令和２年１１月～令和３年１０月）　（単位：円）

科　　目	収　入　額	支　出　額
保険料徴収額（加入者）	1,014,300	
保険料支払い（保険会社）		982,148
預金利息	1	
合　　計	1,014,301	982,148
収入額－支出額（次年度繰越金）		32,153

２．事業報告の附属明細書

（１）役員に対する報酬等の明細

（単位：円）

区　　分	当期中の報酬等支払額	総会で定められた報酬等限度額
理　　事	13,735,520	14,000,000
監　　事	120,000	120,000
合　　計	13,855,520	14,120,000

剰 余 金 処 分 案

（第５０期）

（単位：円）

科　　目	金　　額
１　当期未処分剰余金	**12,111,915**
当期剰余金	11,875,679
前期繰越剰余金	236,236
２　剰余金処分額	**11,500,000**
（１）利益準備金	3,500,000
（２）任意積立額	
特別積立金	8,000,000
３　次期繰越剰余金	**611,915**

（注）
次期繰越剰余金には、営農指導・生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額200,000円が含まれています。

監　査　報　告　書

私たち監事は、令和３年８月１日から令和４年７月３１日までの第５０期事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その結果につき以下のとおり報告致します。

１．監査の方法及びその内容

監事は、ＪＡ監事監査基準に準拠し、監査の方針、監査計画、監査の方法、監査業務の分担等を定め、理事、内部監査部門、その他使用人及びその他監事が適切に職務を遂行するに当たり必要と判断した者等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を聴収し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、事業報告、貸借対照表、損益計算書、注記表、剰余金処分案及び附属明細書について検討しました。

２．監査の結果

（１）貸借対照表、損益計算書、注記表及びこれらの附属明細書は、組合の財産及び損益状況を適正に表示しているものと認めます。

（２）剰余金処分案は、法令及び定款に適合しているものと認めます。

（３）剰余金処分案は、組合の財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

（４）事業報告書及び附属明細書は、法令及び定款に従い組合の状況を正しく示しているものと認められます。

（５）理事の職務遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和４年１０月２５日

東京都植木農業協同組合

代表監事　　田　中　誠　一　㊞
監　　事　　鈴　木　光　二　㊞
監　　事　　竹　内　政　行　㊞

令和４年度事業計画（案）

（令和４年８月１日～令和５年７月３１日）

１　基本方針

コロナ禍になって今年で三年。マスコミでは依然として連日新規感染者数が報道され、その増減に一喜一憂するという構図が続いています。新型コロナウィルスを感染症法上の扱いで現状の「２類相当」から「５類」に変えていくという議論がありますが、これまでのワクチン接種一辺倒のコロナ対策に対して、この先、安価で扱いやすい治療薬が普及するようになれば、医療費負担の「５類」でも対応ができるようになります。肝要なのは季節性インフルエンザと同様に、新型コロナの予防・治療のサイクルがしっかり確立されることです。

植木を巡る情勢では、戦後に植えられた街路樹等が７０年以上経過し、つい先だっても愛知県で倒木の被害が出たように、樹齢による経年劣化が進み、維持していくのが極めて困難な状態にあります。行政と連携した適切な更新（植替え）が求められています。

さて、今年（２０２２年）は、１９９１年の生産緑地法の改正によって「生産緑地」に指定され３０年間の営農義務が設けられた土地が、その縛りを解かれ始める年です。相続税などで、それらの土地が一斉に宅地へと転用されることが無いように、日本政府は対策を行っています。その一つが「特定生産緑地制度」で、生産緑地の指定告示から３０年を迎える前に、買取り申し出ができる期限を所有者等の申請により１０年間延長できるというものです。

農家が高齢になり、営農が続けられない場合でも、生産緑地法の改正により、様々な可能性が広がります。たとえば、営農における、第三者への農地の貸し出しです。

東京都内での新規就農の支援などを行っている「東京ＮＥＯ-ＦＡＲＭＥＲＳ!（ネオファーマーズ）」では、このような制度を利用して、今年６月に八王子市内に野菜の直売所をオープンさせました。新規就農者の野菜を扱う地産地消の店が増え、東京の農業が活性化していけば、高齢化を迎える地域経済の活性化にもつながります。

ＪＡ東京植木でも、「東京NEO-FARMERS!」を管轄する東京都農業会議や、地域の総合ＪＡなどと協働しながら、この「２０２２年問題」への対応を、積極的に担って参ります。

２　当組合の主要な事業運営について

① 総務部門については、定期的な広報誌の発行を行い、ホームページの内容充実を実現していく中で、組合員により良い情報を提供して参ります。また、一昨年・昨年と取り組めなかった職員講習についても状況を見ながら実施して参ります。

② 指導部門については、昨年に引き続き東京都苗木供給事業を主力的に担い、受託者圃場の栽培管理に努めながら、東京都の緑化施策推進の一翼を担って参ります。また、東京都の新規助成事業に積極的に関わり、組合運営における新たな可能性を模索して参ります。

③ 購買部門については、組合の主力事業として、特売や各生産団体などで行われる協同購入などに積極的に協力しながら、取扱量の拡大を実現して参ります。

④ 販売部門については、緑化植物供給可能量調査システムのリニューアルを見据え、今後とも顧客ニーズに迅速かつ的確に応えて参ります。

⑤ 植木市場は、本年も出荷者・買参人の要望を具体化することで、市場の活性化に尽力して参ります。

ＪＡ東京植木では、これからも組合員の利便性向上を目指して、役職員一同奮闘してまいりますので、皆さまの一層のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

３．部門別事業計画

総　務　部　門

（１）組合員の要望に即応した情報の提供

ホームページ・広報誌の充実により組合員に対して、経済状況・各種研修会・特売品・新商品等の情報を素早く提供できるよう努めます

広報誌の発行予定月　１０月・１２月・１月・３月・５月

（２）経済競争に勝ち残れる体制強化

職員会議・研修会を頻繁に行い、職員の商品知識の向上、職場内の連携を図り、組合員の要望に即応できる体制をつくり、組合員へのサービスの向上、量販店等との経済競争に勝ち残れる体制強化を目指します。

（３）植木の普及

緑化植物供給可能量調査の集計結果を活用して、引き続き東京都の緑化工事に東京都産の植木を使ってもらえるよう働きかけをしてまいります。

各市農業祭はコロナ禍の影響で中止される事がありますが、要請があれば、各市農業祭への審査員派遣を行います。又東京都樹木医会の協力を得て、啓発活動や情報提供を図ります。

指　導　部　門

（１）東京都農業祭５２の開催

都内における植木生産地の維持および技術向上の為、また都民に対して都内産植木の生産状況の認知や理解、啓発のために実施します。

JA東京中央会と連携しながら、ご家族連れや若い方たちにもご来場いただけるよう努めていきます。

（２）研修会の実施

組合員の意識の向上や親睦を図る為、また生産技術の向上および経営の安定を図る為に先進地への視察研修会を実施します。また、技能資格等の講習会なども必要に応じて実施します。

（３）緑化用苗木の栽培管理委託

東京都農林水産振興財団より受託し、受託圃場主との連携を図りながら優良苗木の生産・供給に努めていきます。

（４）可搬式緑陰ベンチを活用した都内産植物のＰＲ

東京都の新規事業である「花と緑の競争力強化支援事業」に参画し、東京都や区市町村または民間団体等と連携して、可搬式緑陰ベンチの設置を通した都内産植物のPRを進めてまいります。

購　買　部　門

（１）組合員のニーズにあった品揃え及び価格の適正化

量販店等の販売及び価格の調査に努めます。

仕入れ単価が安くなるように努力し、商品を安く販売できるように務めます。

（２）需要期における特売の実施

季節に応じた商品を広報誌でＰＲし、特売を実施いたします。

例　春　農薬　等

　　夏　機械　等

（３）組合員サービス月間の実施

例年どおり６月１日から６月３０日まで、全組合員を対象にした購買品１０％引きの販売セールを実施いたします。

また、特別価格商品を数品目販売いたします。

（４）各団体の共同購入への協力

共同購入が実施されている各団体に協力し、良品を安価に提供いたします、共同購入を実施予定または検討している組合・団体等ありましたら組合までご相談ください。

（５）売上目標

１億６千５百万円　　前年実績　１億７千１百万円

販　売　部　門

（1）緑化植物供給可能量調査を活用した地産地消の推進

緑化植物供給可能量調査を活用しながら、組合員の生産圃場把握に努め、販売事業の体制を確立してまいります。

（2）苗木の売り払い

昨年同様に、植木生産者に苗木の売り払いの希望を募り、ホームページや広報誌を通じ、組合員への良質苗木斡旋を行います。

（3）東京都の栽培管理委託事業の苗木斡旋

指導部と協働して、東京産の苗木の生産状況を把握しながら、東京都委託苗木事業に東京産植木を導入してもらえるよう、働きかけてまいります。

（4）販売体制の充実

購買課と連携し、配達や材検途中での営業等に努め、組合員のニーズを把握し、注文等への対応に努めます。

（5）売上目標

１億６千万円　　前年実績　１億５千万円

市　場　部　門

（1）市場参加の勧誘と宣伝

広報誌やホームページを利用して、市場の情報を提供します。

（2）市場の活性化

市場開催時に購買品等の目玉商品や新商品の展示即売を実施し、購買の売上増と市場の活性化に努めます。

（3）相対取引の検討

ここ数年相対取引による売上が増加している事を踏まえ、今後は運営について理事会等で検討してまいります。

（4）売上目標

２１，０００，０００円　　前年実績　２０，２５４，９６３円

開催回数（予定）　１７回　　開催回数　１５回

令和４年度総合収支計画

令和４年８月１日～令和５年７月３１日

（単位：円）

項目			前年度実績	本年度目標
収入	指導事業		41,730,096	43,000,000
	購買事業		171,799,017	165,000,000
	販売事業		150,963,039	160,000,000
	植木市場		2,600,468	2,500,000
	小計(1)		**367,092,620**	**370,500,000**
支出	事業費用	指導事業	37,965,789	38,500,000
		購買事業	128,596,758	125,000,000
		販売事業	103,497,022	112,000,000
		植木市場	2,016,343	2,000,000
		小計(2)	**272,075,912**	**280,500,000**
	事業管理費	人件費	61,906,338	65,000,000
		業務費	11,507,032	12,000,000
		諸税負担金	770,970	850,000
		施設費	8,824,655	8,800,000
		雑費他	214,983	200,000
		小計(3)	**83,223,978**	**83,850,000**
		事業外収益	2,131,032	1,800,000
		事業外費用	221,083	200,000
		小計(4)	**1,909,949**	**1,600,000**
経常利益（１－２－３＋４）			**13,702,679**	**7,750,000**

第５号議案

役員の補欠選任について

東京都植木農業協同組合　定款附属書役員選任規程第３条第２項に基づき、役員推薦会議より下記の者が補欠選任候補者として推薦されたので、同条１項により補欠選任候補者として提案する。

記

補欠選任役員候補者

支 部 名	氏　　名	住　　所
あきる野	平　野　久　雄	あきる野市切欠１９４３

― 参 考 ―

東京都植木農協青年部事業計画

令和４年度青年部事業計画（案）は、下記のとおりです。

記

1 定例幹事会の開催

2 植木生産地の視察交流及び造園施設等の見学

3 組合が実施する講演会、講習会に協力、参加する。

4 東京都農業祭５２（植木部門）へ積極的に協力、参加する。

5 東京都農林水産振興財団が実施する事業に協力、参加する。

6 会員の親睦を図る事業を企画、実施する。

7 その他達成上必要と認められる事項について、企画、実施する。

支部名	部員数
青梅	6名
あきる野	1名
小平	1名
国分寺	9名
立川	１８名
西東京	8名
東村山	4名
三鷹	１０名

令和３年１１月現在５７名